

ふくい女性ネット

REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

4月から始まった第8期の活動は、早くも折り返し地点となりました。前半の講義ではビジネススキルを身につけるとともに、メンバー同士の交流も深まりキャリアアップへの意欲が高まってきました。そして、ついに10月からは仮想プロジェクトが始動しました！



お茶の水女子大学講義「ワーク・ライフ・バランス」



平成27年7月22日(水)、お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 石井昌子教授から、「ワーク・ライフ・バランス」についてご講義いただきました。仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためには、

- (1)就労による経済的自立が可能な社会
- (2)健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
- (3)多様な働き方・生き方が選択できる社会

であることが重要だと学びました。女性にとっては職場環境と慣行、夫の



家事や育児への協力等もワ

ーク・ライフ・バランスに大きく影響してきます。「自分にとって満足できるワーク・ライフ・バランスとは何なのか？」ワーク・ライフ・バランスの重要性を知り、また改めて自分自身を見つめ直す良いきっかけとなりました。

石井教授を囲んでの意見交換会も行われました。プライベートな質問にも気さくにお答えくださり、終始和やかなムードの中、楽しい時間を共有することが出来ました。(担当：荒川)



ビジネススキル講座「セルフコントロール」



平成27年8月18日、ブラマンテ(株)代表取締役 田島弓子氏から「セルフコントロール」についてご講義いただきました。

「心が強い」とは「自分の弱みと冷静に向き合い、柔軟な対策がとれること」であり、自分の感情や価値観をコントロールするためには「客観的視点を鍛えること」が大切であることなど、講師自身の経験談を織り込みながら、分かりやすく説明していただきました。

講義の中では、受講者全員が仕事に対する普段からの心がけについて発表し、仕事に対する意識を見つめ直して心の体質をチェックしました。

仕事をしていれば、ストレスやプレッシャーは当たり前です。しかし、それを克服しようとするのではなく、自覚して受け入れるための対策(オン・オフをコントロールし休息の質を上げる等)を行うことも必要なのだと思いました。また、女性は良くも悪くも感情で仕事をする傾向があると学びましたが、女性の「相手のために力を発揮したい」という感情を武器に、今回学んだセルフコントロールのための具体策を実行して、より質の高い仕事をしていきたいと思いました。(担当：土田・中田・仲山)



仮想プロジェクト①「プロジェクトの進め方」



10月2日、仮想プロジェクトがいよいよスタートしました。「仮想プロジェクト」は、提示された課題の解決方法を、グループ(6~7名)で企画立案し、プレゼンテーションまでを実践する6回シリーズの講義です。

今年の課題は「恐竜を活用したビジネスプラン」



後藤副館長から説明を受けました

ミュージアムショップでは、恐竜グッズの多さに驚かされました。ショップの客層や豊富なラインナップの中の売れ筋などについて、加藤店長からお話しをうかがいました。

見学後には、県ブランド営業課の寺井主事から、観光営業部の創設から恐竜を活かした町づくりに至るまで、福井の恐竜ビジネスの展開について説明を受けました。

(担当: 梶原・夏目・道浦)

仮想プロジェクトの初回講義は県立恐竜博物館で開催され、福井県が誇る地域資源である恐竜について知ることから始まりました。後藤副館長から「時間のスケール(46億年)を理解した上で、展示物を知性でなく感性で楽しんでほしい」との説明があり、展示に込めた思いや来館者を引き付ける工夫などについて理解を深めました。博物館は、世界3大恐竜博物館の一つに数えられ、世界最大級の実物全身骨格化石があります。見学で、その迫力を肌で感じ、年間70万人が来場する魅力を確認しました。さらにミュ



恐竜グッズを見学するメンバー

仮想プロジェクト グループワーク



「アイデアとは」メンバーと語る林氏

電通株の林信貴氏の講義では、恐竜ビジネスのプロジェクトを進める上での企画立案法を学びました。林氏は、日本の伝統的な芸能に「型」があるように、企画づくりにも思考の「型」があるとし、「型」とは「現状分析をすること(現在抱えている問題を丹念に分析する)」、「目標を設定すること(未来、理想とする将来をイメージする)」、「アイデア(その変化を可能にする方法・課題をクリアする方策)を出す」ことだと説明。さらに、どの過程においても徹底的に掘り下げ、時には違った切り口でアプローチする

ことが大切だとお話いただきました。

班ごとに分かれて恐竜ビジネスのアイデアを出し合い、30分という短い時間の中でイメージを創り上げることにも取り組みました。恐竜テーマパークといったスケールの大きなもの、恐竜アプリというITを活用したものなど各班から様々なアイデアが発表され、林氏からコメントをいただきました。今後、プロジェクトが進んでいく中で、アイデアが企画へと発展していくことが楽しみです。メンバーで協力し合い素敵なプラン作り上げていきます。

ミニ発表に向けてのシート作り



—編集後記— 「仮想プロジェクト」が10月からいよいよ本格始動しました。2月の発表に向けて、それぞれが成長した姿をしっかり見せられるように、チームのメンバーと協力し切磋琢磨しながら頑張っていきます。

ふくい女性ネット(第8期)参加企業 : ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイピクス
株式会社エイチアンドエフ
株式会社米五
株式会社信越マグネット
日本商運株式会社
福井県庁
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT

株式会社アスワ村田製作所
太田木材株式会社
坂井市
社会福祉法人新清会
株式会社ネスティ
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
北陸電力株式会社福井支店

アボットジャパン株式会社勝山事業所
株式会社大津屋
鯖江市
株式会社 SHINDO
福井県国民健康保険団体連合会
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
社会福祉法人町屋福祉会

アンジュール株式会社
株式会社キタジマ
株式会社ジャルダン
第一織物株式会社
福井赤十字病院
学校法人 福井仁愛学園
福井鋳螺株式会社
松文産業株式会社 (32社 50音順)